

公開実用 昭和62- 194094

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62- 194094

⑬ Int. Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	⑭ 公開 昭和62年(1987)12月10日
B 43 L 1/10		6976-2C	
A 63 H 3/02		6822-2C	
		6935-2C	
G 02 F 1/19	1 0 1	7204-2H	
G 09 F 9/30		6866-5C	
			審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 めいぐるみ玩具

⑯ 実 願 昭61- 62090

⑰ 出 願 昭61(1986) 4 月24日

⑱ 考 案 者	水 谷 保 彦	名古屋市昭和区緑町 3-17	パイロットインキ株式会社内
⑲ 考 案 者	山 本 浩 子	名古屋市昭和区緑町 3-17	パイロットインキ株式会社内
⑳ 出 願 人	パイロットインキ株式 会社	名古屋市昭和区緑町 3-17	

Best Available Copy



明 細 書

1 考案の名称

ぬいぐるみ玩具

2 実用新案登録請求の範囲

二枚の基板間に配設した多数のセル内に磁性粒子の分散液体を充填してなり、磁気筆記体及び磁気消去体による磁界の作用で筆記像を現出、消失させる磁気ボードを表面の一部に装着したぬいぐるみ玩具。

3 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案は、ぬいぐるみ玩具に関する。更に詳細には、磁気筆記体及び磁気消去体による磁界の作用で筆記像を現出、消失させる磁気ボードを表面の一部に装着したぬいぐるみ玩具に関するものであり、従来のぬいぐるみ玩具に筆記乃至メモ要素等を付加して商品性を高めるものである。

従来技術及び本考案が解決しようとする問題点
従来のぬいぐるみ玩具には、筆記乃至メモ要素等を備えた実用性を満足させる商品がなかった。

本考案は、磁界の作用による筆記像の現出、消去が可能な磁気ボードをぬいぐるみの表面の一部に装着して、磁気筆記体による筆記で筆記像を視覚させ、一方磁気消去体により簡易に前記筆記像を不可視状態となし、筆記乃至消去時における着色成分による汚染トラブルを発生させず、繰り返しの記録、消去を行なえるようにして、幼児、学童等が安心して扱える多機能ぬいぐるみを提供せんとするものである。さらには、磁気ボードの装着部位或いは磁気ボードの形状等によってユニークな形象のぬいぐるみを提供する。

問題点を解決するための手段

本考案ぬいぐるみ玩具を図面について説明する（第1図乃至第8図参照）。

本考案ぬいぐるみ玩具1は、二枚の基板間に配設した多数のセル内に磁性粒子の分散液体を充填してなり、磁気筆記体3及び磁気消去体4による磁界の作用で筆記像を現出、消失させる磁気ボード2を表面の一部に装着した構成を特徴とするものである。





前記において、磁気ボード 2 及び前記ボード 2 への筆記及び消去システムは、従来より公知の技術、例えば特公昭 57-27463、特公昭 59-31710、特公昭 59-32796、特公昭 60-22333、実公昭 60-7198 号公報等の開示の技術を利用できる。

即ち、磁性粒子を分散した降伏値を有する塑性流動性液体にその降伏値以上の磁界を作用させて、前記磁性粒子を泳動させて表示を行う表示メカニズム、さらに具体的には、前記塑性流動性液体は、磁極を異なる色に色分けした反転表示微小磁性粒子や分散溶媒と相異なる色の磁性粒子を分散させた系が有効であり、透明状表面板と不透明乃至透明な裏面板の間に配設した多数のセル内に充填して磁気ボード 2 が構成され、前記ボード 2 の透明状表面板の表面に磁気筆記体 3（筆記先端部に磁石を取りつけたもの）により筆記することにより、筆跡の個所の表面板の内面の反転表示微小粒子を反転させ、或いは磁性粒子を表面板の内面に吸着させて、筆記像を可視状態となす。

前記像の消去は、磁性消去体4を前記表面板の可視像の個所を移動させることにより、或いは裏面板の下面に磁性粒子分散系に磁界を作用させる消去用磁石を移動自在に配設し、前記表面板の表面に前記消去用磁石を吸引する可動磁性体を配設してボード2表面側より消去することができる（特公昭57-46439号公報参照）。

前記筆記像の現出、消失は繰り返しの実用に対しても機能が損なわれることがないし、磁性粒子の移動が閉鎖系で全て行われる上、磁気筆記体3、磁気消去体4のいずれも非消耗型であるから、長期の実用性を満足させる。

磁気ボード2は、ぬいぐるみの表面の一部に、ぬいぐるみ本来の外観性や触感性を損なわない範囲で、ぬいぐるみの一部として一体化した状態に接着、ぬいつけ、嵌め込み、或いはボタン付けやマジックテープ等を用いて着脱自在に取り付けることができる。

尚、磁性粒子及び／又は分散溶媒を着色剤により適宜に着色させて、ぬいぐるみの色や模様と対





応させたり、視覚にコントラストを与えたり、模様の一部として役立たせることができる。

磁気ボード 2 と組合せて使用される磁気筆記体 3 及び磁気消去体 4 は、動物ぬいぐるみである場合には、口部、腹部、尾部等に挿入、収容、取付、或いは係止させるよう構成することができるし、ぬいぐるみの構成要素の一部として外観性とマッチさせて装着させることができる。

磁気筆記体 3 は、単に磁石を筆記先端に取りつけたものに限らず、本体の側面長手方向に消去用磁石を一体的に取りつけた構造のものが有効であり、磁気筆記体 3 で筆記していて筆跡を消去する場合に消去体 4 が見つからない等の不具合を解消させることができる。

4 考案の効果

本考案は、前記の如く構成されており、筆記乃至メモ要素と消去要素を兼備した、多機能ぬいぐるみ玩具として実用性と共に商品性を高めるものである。筆記像の現出、消去がいずれもボードに内蔵の磁性粒子の移動による、閉鎖系で行われる

ので、筆記表面の汚染や、ぬいぐるみ、人体、着衣等の汚染トラブルがなく、幼児、学童等は勿論、一般ユーザーが従来のぬいぐるみと同様、安心して扱うことができる。

さらには、磁気ボードの装着部位或いは磁気ボードの形状等によってユニークな形象のぬいぐるみを提供でき、多様な商品展開が可能である。

4 図面の簡単な説明

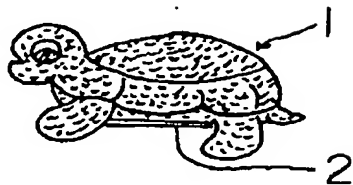
第1図、第4図、第6図、第7図は、本考案ぬいぐるみの各実施例の斜視図、第2図は第1図の、第5図は第4図の、第8図は第7図の各底面図、第3図は磁気筆記体の斜視図である。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1.....ぬいぐるみ | 3.....磁気筆記体 |
| 2.....磁気ボード | 4.....磁気消去体 |

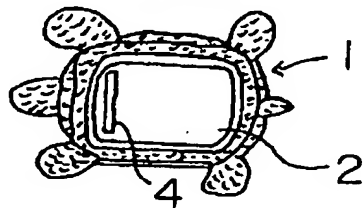
実用新案登録出願人 バイロットインキ株式会社



第1図



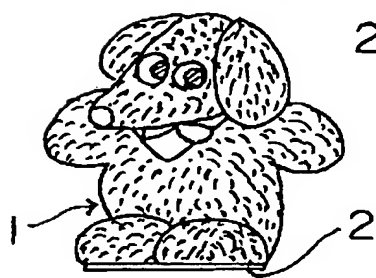
第2図



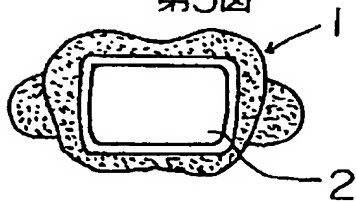
第3図



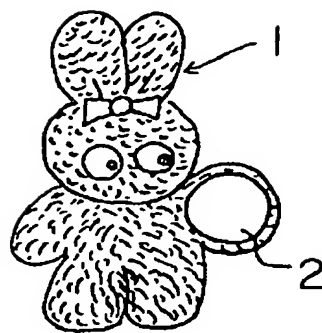
第4図



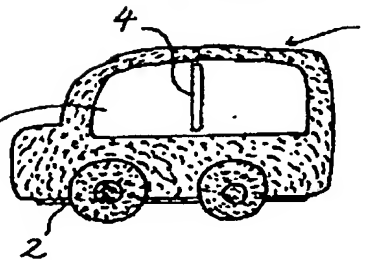
第5図



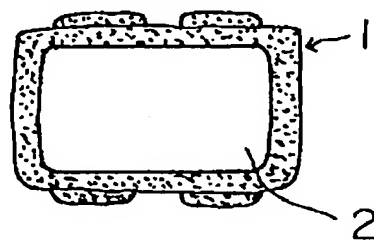
第6図



第7図



第8図



実用新案登録出願人 パイロットインキ株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☒ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.